

まちネット 寄居通信『さあ 手をつなご!』はみなさんの支援力がエネルギー源

もっと元気な町にしよう!

7月のはてなサロン

議会報告と座談会

参加者:9名

参加した大北議員から6月議会での一般質問に絡んで諸々の報告がありました。

- ・寄居町の「切土盛土規制条例の策定に向けて」行政側の手ごたえがあった
 - ・国民健康保険が均等割りに変更され、40代働き盛りの世帯に負担がかかって来る事態となった
 - ・副議長不信任案が可決されたこと
 - ・コロナ対策の助成金受付案内の内容
- など議会と行政での動きを聞きました。

また、参加者からは、積極的なまちづくりへの具体的な提言等聞くことができ、充実した2時間余りとなりました。以下主だった内容。

- ・これからのまちづくりとして農業振興へ重点を置くべき
- ・HONDAをもっと利用した町の活性化へつなげていった方が良い
- ・ドイツのクラインガルテン(市民農園)。全国ではいくつかの自治体が着手、滞在型、日がえり型で多くが自治体運営となっているが寄居町でも展望がある
- ・高齢化はますます進み、若年層が減少の事態への対策は今どうなっているのか?
- ・まず現実に暮らしている人たちが安心して心豊かに暮

らせる、充足感の持てる町にしていくことが先決。暮らしやすい町には若者も返ってくる、住み着く。

などたくさんのこんな町にしたいといったビジョンが語られた。絵に描いた餅にしないためにも、できることから活動計画を立てて調査等実践していく必要がある。展望を語れる会として今後も多くの方たちの声を聴き皆で考えていく会としていきたい。

今回話された市民農園に関する内容は、菅原氏より通信に寄稿していただきました。



はてなサロンに参加しました

7月に行われた「はてなサロン」。コロナ感染対策が続く中、複数名が集う会議室に行くのは、正直、少々緊張した。しかし、広い会議室の長いテーブル1つに1人着席が会場使用ルールと知って、ホッ。そして集まった方々の顔を見て、まだ話しも始まらないのに、何だか充実感が心にチャージされていく。人が集まるってイもんだったんだって、忘れかけてたかもしれない。

そんな「はてなサロン」で印象深かったお話。1つは平たんで水に恵まれ、日照時間も長く、山や川も近い、そして都心からのアクセスも大変良い、寄居の耕地を生かしたクラインガルテン(市民農園、滞在型市民農園)について。既に全国に幾つもある、クラインガルテンと画像検索するだけで、ワクワクする画像がたくさん並ぶ。そんなクラインガルテンを、ここに住む私たちが楽しむ。そうしていたら都会の人たちもやって来るだろう。

もう1つはホンダが寄居にあることをもっと活用しようよ、というお話。改めてホンダのHPを見てみる。寄居工場は世界のホンダの工場へ高効率生産の技術を広めるリーダーとされていて、環境への負荷についても良く配慮されているとある。きっと、(世界の工場の閉鎖や縮小の話も聞かれるけれど、)長い目で見れば将来にわたって海外から、寄居工場を視察に来る。そんな流れの延長で、Yorii が世界中の HONDA ファンの聖地になることだって、妄想より現実に、少しだけけど、近いかもしれない。

夢図を現実のものにするのはとても大変だと思う、どうやったらいいの？誰に聞いたらいいの？分からない事だらけ。けれど夢は顔を上げて先を見る気持ちにさせてくれる。心が動く。イイなあ。今はコロナで中止になっているけれど、再開されたらホンダ寄居工場の工場見学にいつかみよう。(KY)



寄居町を 豊かな農業 リゾート・ヴィレッジへ！

寄居町の最大の問題は、人口減少に歯止めが掛からず、若者層の流出と、高齢化が増大するばかりの現状にあります。町の人口統計表によると、平成13年の38131人をピークとして、毎年減り続け今年の6月更新データでは、33141人となり5015人減(13.14%減)となっております。15~39歳の若者は7922人(23.95%)。65歳以上の高齢人口は10832人(32.69%)「令和2年6月現在」で。年々若者は減り続け、高齢化は進行し続け2045年には、高齢化率は46.7%と予想されております。この事は、由々しき一大事です。今の内に対策せねば、取り返しのつかない事態になります…

では、こんなになってしまった原因は何でしょうか？若者が魅力を感じる町では無くなった！心引かれる安定した仕事が無い！結婚して家庭を持つには、先行き不安だ！町は老人ばかりで、つまらないと田舎だ！生き甲斐が無い！等々…色々な若者たちの諦めの声を聞きます…



本当に、わが町寄居は「そんな魅力の無い町」なのでしょうか！いいえ、断じてそうではありません。

私は、全くその逆で、魅力一杯の将来が夢と希望に満ち溢れた町に創造出来ると思っております。唯、現状は「寄居町が持っている数々の素晴らしいポテンシャル」を十分に引き出せていないからだと思います。今一度、原点に立ち返って、寄居町を俯瞰的に見つめ直して、大胆に革新的に開発しては如何でしょうか？

*では、具体的にどうすればいいのか！！以下、私なりのご提案をさせていただきます。

「寄居町が持っている数々の素晴らしいポテンシャル…」とは、何か？

①荒川を軸にした、素晴らしい自然環境。「水と緑の人

間が本当に心安らく町」

②豊かに広がる農地。(農村の景は、日本の原風景！)

安価で新鮮な農産物の提供。(東京から、週末を利用して、わざわざ野菜の買出しに来る人々が絶えない。農協の直売所は結構繁盛している。経験豊かな農民「農業の師」が沢山おられる。「人的資源」)遊休農地が多い。

③近隣の秩父地域を中心に、観光地・温泉が多い。手頃な民宿・旅館等の宿泊・観光施設が多い。

④東武東上線・秩父鉄道・JR 八高線の鉄道三線が乗り入れている。関越自動車道の花園 IC・寄居 SIC・本庄児玉 IC 等の三 IC がある。抜群の交通アクセスの利便性がある。東京から寄居町まで、1~1.5 時間の近距離にある。簡単に往来出来る。

⑤自然災害が殆ど無い。安全な住環境が安価に得られる。

⑥豊かな自然環境を求めて、アーティストが都心部から移り住んで来ている。(潜在的芸術の町~文化都市の可能性大)

⑦朴訥な人の良い親切な町の住民~基本的に素直な人間性

ざっと上げてみても、他都市町村には無い、際立った特徴を保有する町 寄居！

寄居町内だけで考えるのでは無く、都市部の住民も取り込んで広域的に、複合的に考えて、新しい町を創造する！若者たちの「何も魅力が無い、ど田舎寄居から」180 度逆転の発想を以って、賑やかに人々が行き交う「農業リゾートヴィレッジよりい」を創出するのです！！

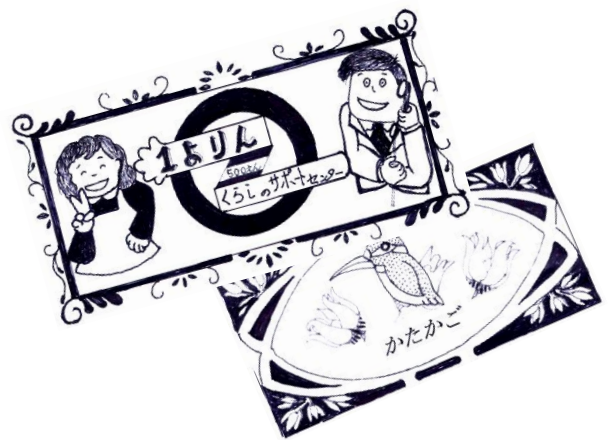
その具体的手法としては、ドイツに発祥し世界的に広まった「クライン ガルテン=市民農園」の手法を、寄居版に応用し、創り上げるのです。主なターゲットは、東京都民です。(東京一極集中から地方の時代へ)人・物・金のダイナミックな流れを創出するのです。楽しむ農業を核に、一次産業から五次産業(生産~加工~流通~サービス~文化芸術)を、内外の人々が総員参加で、手作りで、楽しみながら、交流し創り上げて行くのです。『農業リゾート・ヴィレッジよりい』の誕生です！！

寄居町 用土七区 菅原元彦

地域の足として

かたかご終業の報告

2006 年 4 月からスタートした「暮らしのサポートセンターかたかご」は 2020 年 8 月末をもって終業いたしました。「かたかご」は住み慣れた地域で安心して暮らせるよう身近な生活支援を、地域ですむ人々による「助け合う」「支えあう」ことをベースにしたサポートセンターです。私たちが必要とする、より豊かな生活の質の向上を目指したサービスを作り出します。安心して暮らせる地域社会の一助となることを目的とします。住民主体による運営で利益の最大化を目的としません。として 15 年間稼働してきました。



町のデマンド交通が軌道に乗るまでは頑張ろうと活動してきましたが、実際にデマンドタクシーが稼働しても町外への小川日赤、循環器センターなど近隣の大きな病院への送迎はできないため稼働日数は減っても終了することができませんでした。会員制で運営し、サービスの利用、提供で50名余りの方たちが関わり、盛況時には、年間200件余りの依頼数がありました。15年の間には、高齢者が多い状況下で、亡くなられてしまった方も多く、わずかな期間ではありましたが、出会いと別れを経験してきました。その中で多くのことを学ばされました。また、貴重な時間を割いて担ってくださったかたかごスタッフの方々に感謝あるのみです。2020年に入って、新型コロナの影響でほとんど稼働ができませんでした。会員の多くの方が80代から90代となり施設入居などで退会されましたので、かたかごの一定の使命は終わったと判断しました。

今後は、町のデマンドタクシーがもっと使い勝手の良い寄仕組みとなるよう働きかけていきたいと思っております。

かたかご事務局

「北海道を核のゴミ捨て場にしないこと強く求める署名」に賛同します

まちネット寄居の運営委員会では、上記の要請に賛同し、署名に取り組むことにしました。

新聞、TVなどの報道でご存知と思いますが、後志管内寿都町が原発から出る高レベル放射性廃棄物の最終処分場選定に巨額の給付金と引き換えに「文献調査」への応募の意思表示をしています。特定放射性廃棄物の最終処分に関する法律は大変ずさんな法律のため、北海道知事あてに北海道への核の廃棄物を持ち込まないよう要請する署名です。署名用紙内の主旨を読まれて賛同する方はぜひご家族友人など多くの方の署名をお願いいたします。締め切りは、10月22日までに下記住所に送付するか大北までご持参願います。(切手代はカンパでお願いいたします)埼玉県市民ネットワークで一括して北海道へ送る予定です。

送り先:〒369-1214 寄居町今市 212-1

大北秀子行



2020 全国市民政治ネットワーク
交流会のご案内

今年度は、埼玉県が幹事として交流集会を開催する予定でしたが、新型コロナ禍のため集会はリモートで行うことになりました。

●11月15日(日) 13:00~16:30

第1部 申キョンさん(お茶の水女子大学教授)講演会 13:00~

第2部 パネルディスカッションと討論 15:00~
「ローカルパーティはコロナ禍とどう向き合うか」ファシリテーター 埼玉県議会議員 辻こうじさん

事前にインターネットで参加手続きのメールを送りますので参加希望者の方はメールアドレスをご連絡ください。

申先生の講演のみ視聴も OK です。ジェンダー研究の第一人者の講演です。この機会にぜひ聞いてください。

家庭菜園講座だより

7月の長雨、8月の猛暑を経てやっとさわやかな秋空が広がってきました。8月は、連日の猛暑とお盆が重なり休講しました。コロナ禍で外出の自粛が騒がれてはいますが、戸外であることと、マスク着用、ソーシャルディスタンスを保つての参加を前提に開催しています。

天候不順の中、野菜たちも頑張っています。



ニンジンの花

寄居町運営資金は約 121 億円前後

9 月議会は「決算議会」。令和元年度の寄居町の税金の使われ方をチェックする場である。すでに広報などで把握されていると思うので、ざっくりとご報告します。

一般会計の見積もった歳入予算現額は 130 億 9208 万 1331 円。実際に入った金額は 127 億 2317 万 213 円。歳出決算額は 121 億 2161 万 3962 円。差し引きすると、6 億 155 万 6251 円で、翌年度へ繰り越す財源 8902 万 7807 円を差引いた実質の収入金額は 5 億 1252 万 8414 円の黒字。とはいえ町の借金、町債はおよそ 14 億円になる。

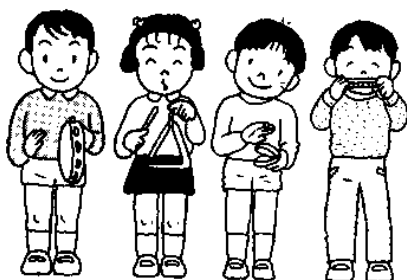
そのうち町税は 50 億 4325 万 1 千円、前年度 0.7%増加した。過去のピーク時(総人口 3 万 4 千人強、生産年齢人口 60%)の最高額 54 億 6763 万 9 千円に及ばないが、50 億円台は嬉しい結果と思う。また、固定資産税も若干の増加となっていて、定住の微増が影響していることを裏付ける結果となっている。

個人的には今回の決算で教育関連と、農業関連に注目した。

タブレット教育が 8 千 321 万円の費用をかけて今年度から来年 3 月までに小・中全校で整備される。もちろん学童保育所も IT 環境整備が進められる。

農業政策に関しては、農地をどう活かすか根本的な政策と、そこへのお金の投入が弱い。国、県の補助金頼みの事業を整理し、選択と集中で取り組む戦略的な立て直しを痛感している。両者の課題には積極的に取り組んでいくつもりだ。情報提供などよろしく願います。

寄居町議会議員 大北ひさかつ



「はてなサロン」開催のお知らせ

大北議員の 9 月議会報告と現在の町、地域の課題、問題を共有し解決策を探っていきます。当日はぜひ皆様からのご意見、ご提案等お願いいたします。コロナ対策を講じた中で、開催したいと思います。参加者は、マスクを着用し、体温を測定してきてください。

期日: 11 月 1 日(日)

時間: 午後 1 時 30 分~4 時 00 分

会場: 男衾コミセン会議室A

●遅刻、早退もOKです。ご都合の良い時間帯でぜひご参加ください。



●ネット会員の篠原由実子さんより、1975 円分の切手の寄付がありました。ありがとうございます。

編集後記

2020 年も残すところ 3 か月弱となってしまった。コロナに始まり、コロナに追われた 1 年の印象があるが、右往左往するだけでなく、これまでの生活、生き方を見直す良い転機ととらえて、前向きな発想の転換とする年としたい。ネットの活動も地域の行事などと同様に自粛せざるを得なくなり、はてなサロンの少人数開催、通信発行にとどまっている。次年度の活動をどうするか、まだまだ先が見えない。そんな中、毎週木曜野菜市では、ネットの活動資金として、野菜、卵の提供をずっと続けてくださっている。生産者の増谷さん、大島さんへはただ感謝あるのみ。地域の方に支えられての活動だと痛感している。会員の皆さんには遠慮のない声をこの機会にぜひともお寄せ願いたい。

振り返れば、今年も開いた口が塞がらないようなお粗末なことがまかり通っている。

自信のない内閣は、検察、日本学術会議人事まで操作してくる。今までの良識は通用しない政治へと変貌している。腹が立ったらやはり怒ろう。そして声を上げていこう。エネルギーはいるが、あきらめてしまったら彼らの思うつぼとなる。今の政治への怒りの声を上げていかないと何も変わらない。挙げても変わらない? 挙げなければ皆容認することになってしまう。